

2026年2月19日
株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
(札証 3055)

ほくたけグループの株式会社ほくやく、旭川支店を新築移転

～最先端の設備と管理で、上川地区の医療インフラを担う～

北海道に根ざした総合ヘルスケア企業グループとして事業を展開する株式会社ほくやく・竹山ホールディングス（所在地：札幌市中央区、代表者：代表取締役社長 真鍋雅信、以下「ほくたけ」）は、連結子会社で医薬品卸売事業を展開する株式会社ほくやく（所在地：札幌市中央区、代表者：代表取締役社長 真鍋雅信、以下「ほくやく」）が旭川支店を新築移転し2月24日より稼働いたしますので、お知らせいたします。

新社屋は、最先端の設備と厳格な管理で医薬品の安定供給体制を一層強化し、上川地区の医療インフラを担ってまいります。



ほくやく旭川支店

1. 特徴

(1) 地域のヘルスケアを支える最先端の医薬品流通拠点

GDPガイドライン※に準拠し、厳格な衛生・温度・セキュリティ管理を実施。保冷用ドッグシェルターを完備し、入荷口は二重シャッター・出荷口は三重シャッターを設置、徹底した防虫防鼠対策を行っています。さらに、倉庫内の温度マッピング・モニタリングや、出入口における監視モニターとIDカードによる入退館管理で、高水準な品質管理と安全性を実現しています。

また、業務の効率化・省人化に加え、作業者の身体負担軽減を実現するため、ピッキング支援のDX化を検討しております。

※：2018年12月に厚生労働省が発出した、医薬品の適正流通ガイドライン。

(2) 災害時においても「物流を止めない」BCP対策

最大72時間稼働の自家発電機を設置し、災害時にも医薬品を安定供給できる体制が整えられております。災害時においても「物流を止めない」体制整備で、上川地区の医療インフラを担う責任を果たします。

(3) 約1.5倍に拡張された倉庫スペースで、増加する医薬品需要に対応

多様化・増加する医薬品の需要に対応するため、倉庫スペースが旧社屋の約1.5倍に拡張されました。地域の医療機関への安定供給体制を一層強化しております。

(4) 地域に根ざし、未来を拓く立地とデザイン

旭川駅から徒歩約6分の好立地で、主要医療機関へのアクセスが向上。新社屋が位置する「北彩都あさひかわ地区」は旭川市の景観計画重点区域に指定されており、北彩都の景観と調和するレンガ調の温かみのあるデザインを社屋に採用しています。景観計画重点区域における支店建設は、ほくやくでは初の取り組みとなります。

2. 建物概要

名 称：株式会社ほくやく旭川支店
所 在 地：旭川市宮下通12丁目3番3号
敷地面積：7,693.98m² (2,331.5坪)
建築面積：2,603.4m² (788.8坪)
延床面積：5,063.50m² (1,532坪)
構 造：鉄骨造、2階建て

3. 配送エリア

上川郡上川町、愛別町、当麻町、比布町、旭川市、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、鷹栖町、東神楽町、東川町

4. 営業開始日

2026年2月24日(火)

ほくたけグループは、北海道に根ざした総合ヘルスケア企業グループとして、お客様、患者様、みなさまが「北海道に生きてよかった」と心から感じられる未来の実現に向けて、これからも努力を続けてまいります。

以上

本件に関するお問合せは以下までお願いいたします

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス 企画広報部

TEL: 011-611-1010 E-mail: pr@hokutakehd.jp

